



「こころを育む総合フォーラム」は、下記のみなさまからのご協賛・ご後援をいただき活動しております。

協賛 トヨタ自動車株式会社
パナソニック株式会社

後援 文部科学省
東海旅客鉄道株式会社
読売新聞社

こころを育む総合フォーラム 全国運動

10年のあゆみ

こころを育む総合フォーラム に関するお問い合わせ

公益財団法人 パナソニック教育財団



こころを育む総合フォーラム事務局
〒105-0001
東京都港区虎ノ門1-1-10 第2ローレルビル6階
TEL.03-5521-6100 FAX.03-5521-6200
URL <http://www.kokoro-forum.jp/>

公益財団法人 パナソニック教育財団

こころを育む
総合フォーラム
全国運動
10年のあゆみ

目 次

ごあいさつ	3
全国運動10年に寄せて	4
有識者会議	6
全国運動.....	7
全国運動10年のあゆみ	8
これまでの全受賞者	12

ごあいさつ

今年で、こころを育む総合フォーラム全国運動を始めてから、丸10年目となりました。これを記念し、全国運動10年のあゆみを発刊するにあたり巻頭、ご挨拶申し上げます。



パナソニック教育財団は、こころを育む総合フォーラムを2005年に立ち上げ、日本人のこころのありようについて討議を重ね、2007年には提言をまとめ、発表しました。提言では、家庭・学校・地域・企業の4つの分野に、それぞれの立場で子どもたちのこころを育むことを「問い」のメッセージとして、呼びかけています。

2008年、この提言内容を全国にムーブメントとして広げていくために、全国運動を始めました。それから、毎年全国各地で取り組まれているこころを育む活動を募集・表彰し、その活動を広く紹介してきました。また、有識者メンバーが全国各地を訪問し、シンポジウムや地域イベントである全国キャラバンを行ってきました。

従来、学校中心に行ってきた財団活動が、これを機会に、地域の保護者、住民による任意団体や、他各種団体の方々と接することが多くなりました。子どもたちの教育には、教員だけではなく、地域で多くの人が関わっていることをあらためて実感するとともに、子どもたちの学力等の能力向上には、その土台となる「こころ」を育むことの大事さを痛感しました。

この全国運動を10年間続けることができたのは、山折哲雄座長、遠山敦子前理事長を始めとした有識者の先生方、教育関係者の皆様、地域の支援者の皆様、そしてこの活動を支えて下さる企業の方の温かいご支援の賜物であると心より感謝申し上げます。

そして、これからの10年に向けて、さらに邁進していく所存でございます。皆様方には引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人 パナソニック教育財団
理事長 小野 元之

俳句はいかが

～こころのリズム、いのちのリズム～

こころを育む総合フォーラム 座長
国際日本文化研究センター名誉教授
宗教学者

山折 哲雄



この10年をふり返りますと、いろんな問題を考えさせられましたが、つい昨年ですが心打たれることがありました。あのみごとな長寿で大活躍をされた日野原重明さんが、亡くなる直前に俳句集を出版されたというニュースをきいたときです。タイトルが、何と『10月4日104歳に104句』（ブックマン社）と洒落た言葉をつらね、帯には「魂の俳句集」とありました。10月4日は104歳になった日野原さんの誕生日、それに合わせて104句の俳句をつくりましたという、何ともさわやかな宣言でした。

ところが不思議なことに、ほとんど時を同じくしてこんどは95歳になってなお活発な執筆活動をつづけている瀬戸内寂聴さんが『ひとり』というタイトルの俳句集（深夜叢書社）を出版されたのですから驚かされました。そこでお二人の句集を机の上に置いて眺めておりましたら、その表紙から三つの言葉がポンと浮び上ってきたのです。「魂の俳句集」「こころを震わせる句集」、そして「ひとり」がそれです。こころと魂とひとりという三つの文字が分かちがたく結びつき重なりあって目のなかに飛びこんできたのでした。

ふと、想像がふくらみました。毎年のように全国の高校生たちがやっている俳句甲子園大会という、何とも型破りな催しのことがよみ返ってきました。愛媛県の松山がその年一回の決戦の大舞台になっているところで、そこは正岡子規や高浜虚子の育った土地でした。今日わが国の俳句人口は一千万ともいわれ、ジャンルをこえた影響や広がりが海外までのびているようですが、日常的な愛好者の数ということになると相当の数になるのではないのでしょうか。

日本語に内在することばのリズム、呼吸のリズム、そしていのちのリズムの根幹をなす五七五の調べですが、それが千年の歴史をこえてわれわれの日常の生活のすみずみにまで及んでいることを、あらためて感じさせられたのでした。

衰亡の わが内にあり 朝ぼらけ



2009年表彰式後の交流会
全国大賞の山形県立置賜農業
高校演劇部のみなさんと



2011年に開催された有識者会議



2013年に行った有識者対談



2016年全国キャラバンin 鹿角八幡平での基調講話



2010年表彰式後に行われたパネルディスカッション



2012年度受賞者と



2014年全国キャラバンin 熊本で出水南小学校の生徒と

2005年の「こころを育む総合フォーラム」設立以来、各界を代表する有識者メンバーによる有識者会議（ブラックファースト・ミーティング）を実施しています。日本人の心のありようについて討議を重ねています。

発足時の有識者メンバー

（所属・役職は2005年発足時／敬称略／50音順）

安西 祐一郎（慶應義塾大学 塾長）
石井 幹子（石井幹子デザイン事務所 主宰）
葛西 敬之（東海旅客鉄道 会長）
金澤 一郎（国立精神・神経センター 総長）※
佐々木 毅（前 東京大学 総長）
滝鼻 卓雄（前 読売新聞東京本社 社長）
張 富士夫（トヨタ自動車 副会長）
遠山 敦子（松下教育研究財団 理事長）
永井 多恵子（日本放送協会 副会長）
中村 邦夫（松下電器産業 社長）
中村 桂子（JT生命誌研究館 館長）
野依 良治（理化学研究所 理事長）
本田 和子（前 お茶の水女子大学 名誉教授）
三村 明夫（新日本製鐵 社長）
山折 哲雄（国際日本文化研究センター 名誉教授）
鷲田 清一（大阪大学 副学長）

※金澤 一郎様は2016年1月ご逝去されました。

現在の有識者メンバー

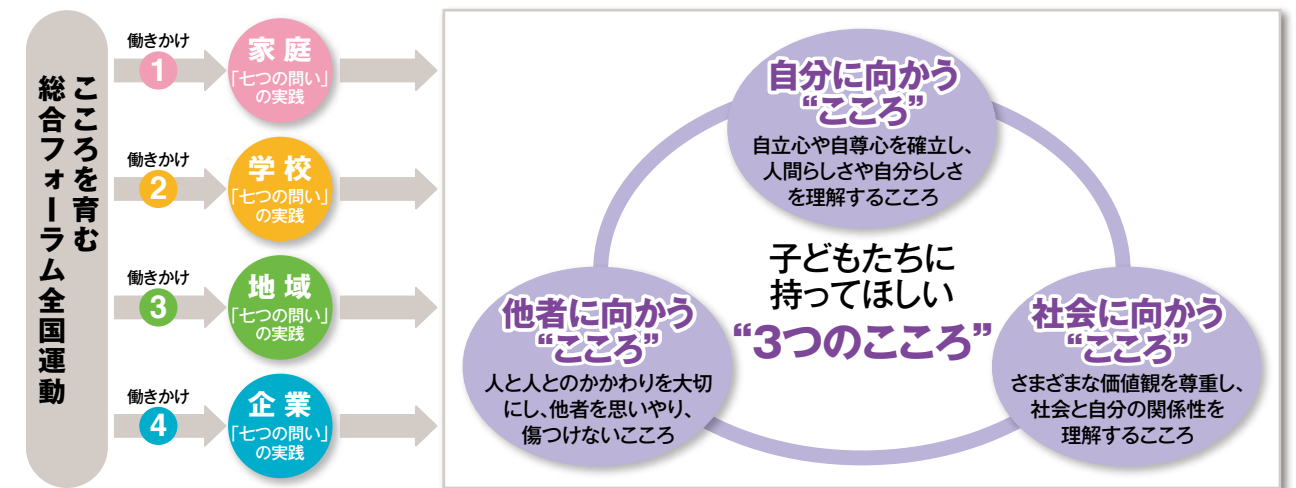
（2017年度／敬称略／50音順）

安西 祐一郎（日本学術振興会 理事長）
石井 幹子（石井幹子デザイン事務所 主宰）
市川 伸一（東京大学大学院 教育学研究科 教授）
上田 紀行（東京工業大学リベラルアーツ教育研究院長・教授）
葛西 敬之（東海旅客鉄道 代表取締役名誉会長）
梶田 叡一（学校法人桃山学院 教育顧問）
佐々木 毅（東京大学 名誉教授）
滝鼻 卓雄（元 読売新聞東京本社 会長）
竹内 洋（関西大学 東京センター長）
張 富士夫（トヨタ自動車 相談役）
遠山 敦子（パナソニック教育財団 顧問）
中村 桂子（JT生命誌研究館 館長）
長榮 周作（パナソニック 代表取締役会長）
野依 良治（科学技術振興機構 研究開発戦略センター長）
平野 啓一郎（小説家）
三村 明夫（新日鐵住金 相談役名誉会長）
山折 哲雄（国際日本文化研究センター名誉教授 宗教学者）
鷲田 清一（京都市立芸術大学 理事長・学長）

提言を具現化するために、2008年より全国各地で実践されている子どもたちの「こころを育む活動」を支援する全国運動を呼びかけています。家庭・学校・地域・企業という子どもたちを取り巻く各分野においてそれぞれの立場でできることを意識したさまざまな活動が実践されること、そして子どもたちに持ってほしい「3つのこころ」をバランスよく育むことを目指して展開しています。

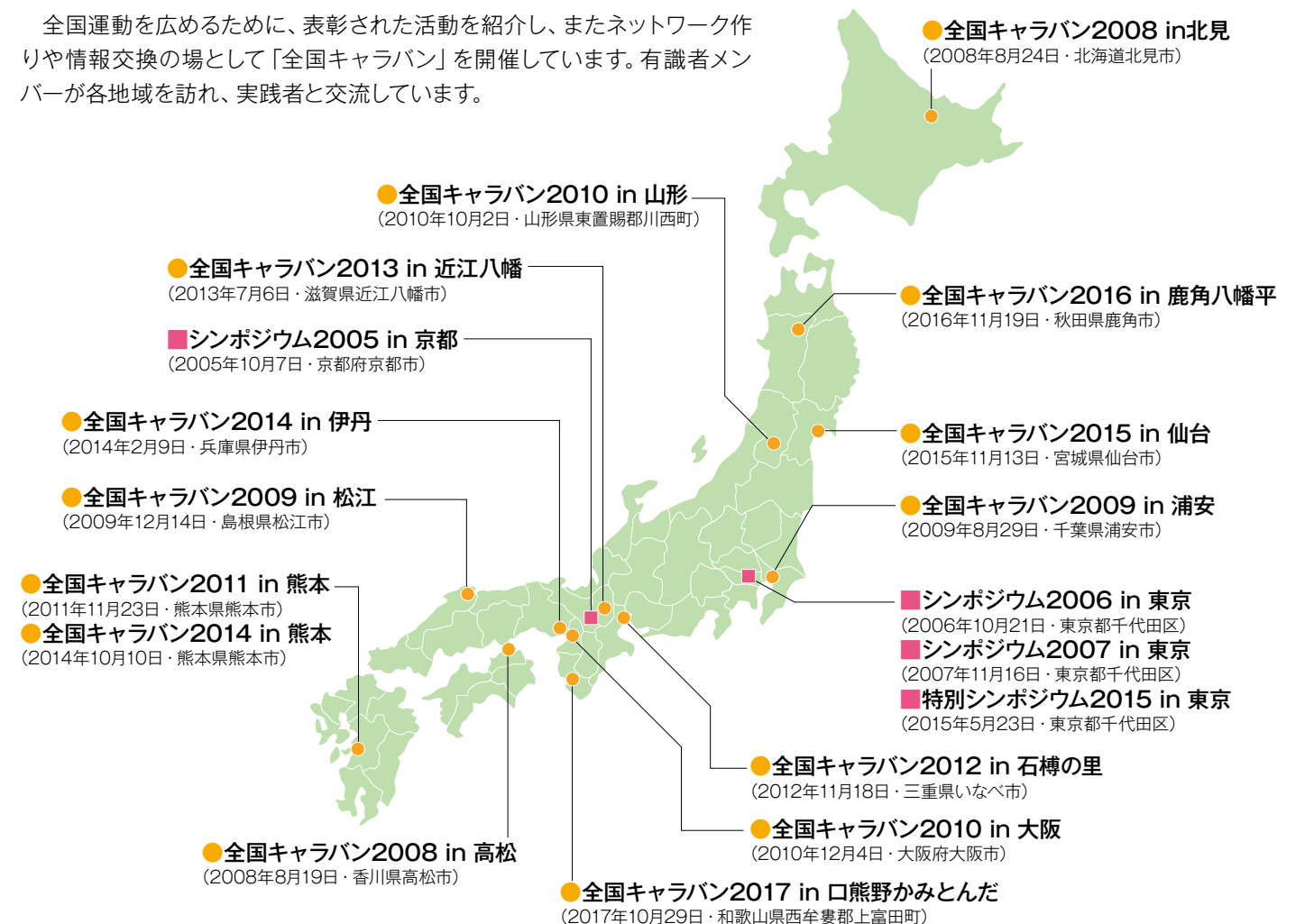
1. 子どもたちの「こころを育む活動」表彰

全国各地で実践されている活動の中から、他の活動の参考となるよい活動を表彰し、活動の元気づけをします。表彰された活動をより多くの人に知らせ紹介します。



2. シンポジウム・全国キャラバン

全国運動を広めるために、表彰された活動を紹介し、またネットワーク作りや情報交換の場として「全国キャラバン」を開催しています。有識者メンバーが各地域を訪れ、実践者と交流しています。



こころを育む総合フォーラム 発起人 パナソニック教育財団 顧問 遠山 敦子

2004年4月、当時の松下教育研究財団の理事長に就任した時、松下電器の中村社長（当時）から「もし何かやり残しているということがあったら、その新しいことを財団でやってみてください」とのお話をいただきました。当時も社会において人々のこころが衰退、退廃していることによって、子どもたちをめぐるさまざまな事象が起きているのではないかと考えておりました。そこで、これに歯止めをかけるべく、山折先生に座長をお願いし、各界を代表する16名にお集まりいただき、討議を重ね、全国運動の発端となる提言書を2007年にまとめることができました。

この全国運動も10年目となります。褒めることによって、全国各地でがんばっている『こころを育む活動』に光を当てて、全国に広報し、他の地域でも活動してもらう契機としてきました。私自身も、全国キャラバンとして、各地に赴き、パネルディスカッション等に参加し、広報してきました。今後ともこのようなこころを育む活動の輪が広がることを願っております。



2012年全国キャラバンin 石樽の里でのパネルディスカッション



2014年全国キャラバンin 熊本で、出水南小学校の生徒と交流する遠山顧問



有識者会議での討議結果をまとめた『提言書』を発表。家庭・学校・地域・企業の4つの分野で子どもたちのためにできることを「7つの問い」の形で、より具体的な提案をしました。
※内容はホームページにてご覧いただけます。
<http://www.kokoro-forum.jp/project/message.php>



2007年 提言発表

『全国運動』の開始にあたり、日本プレスセンターでプレス発表を実施



2009年 全国キャラバン

全国キャラバン2009 in浦安。約800人が参加し「こころを育む環境づくり」に向けた活発な議論が展開された

- '09. 8月 全国キャラバン開催【浦安】
- 12月 全国キャラバン開催【松江】
- 『いま、こころを育むとは』刊行
山折哲雄 著（小学館新書）
- '10. 2月 2009年度表彰式・シンポジウム開催
（全国大賞：山形県立置賜農業高等学校 演劇部）



2009年度 表彰式

2009年度表彰式では全国大賞を受賞した山形県立置賜農業高等学校演劇部が実践事例発表として「食育ミュージカル」を披露



2009年度 表彰式

2009年度表彰式では、前年と同じく3個人13団体を表彰



2011年度 表彰式

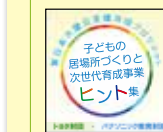
2011年2月開催のシンポジウム内パネルディスカッションの様子。独自の取り組みやユニークな工夫が紹介され、熱い議論が交わされた

トヨタ財団・パナソニック教育財団
東日本大震災支援 共同プロジェクト
「子どもの居場所づくりと次世代の育成」

パナソニック教育財団は、トヨタ財団との共同プロジェクトとして、岩手県・宮城県・福島県で「子どもの居場所づくりと次世代の育成」に取り組む団体を2011年から3年間支援いたしました。

2014年4月には、活動の総括となる『2013年度 活動報告会』を開催し、活動の成果や効果が報告されました。

- 一般社団法人
子どものエンパワメントいわて（岩手県）
- 特定非営利活動法人
「人間の安全保障」フォーラム（宮城県）
- 特定非営利活動法人
「ビーンズふくしま」（福島県）



パナソニック教育財団が2011年よりトヨタ財団とともに取り組んだ「東日本大震災支援 共同プロジェクト」。その3年間の成果を「子どもの居場所づくりと次世代育成事業 ヒント集」としてまとめました。

※ ホームページにてご覧いただけます。
<http://www.kokoro-forum.jp/report/hint/>



2005~ 2007年度

「こころを育む総合フォーラム」発足

2005年4月、各界を代表する16名の有識者で発足。同年10月京都、翌年10月東京にてシンポジウムを開催。2007年1月、有識者会議での討議結果をまとめた『提言書』を発表し、11月に東京でシンポジウムを開催。

2008年度

「こころを育む総合フォーラム」全国運動スタート

- '08. 6月 子どもたちの「こころを育む」活動の募集・表彰を開始
- 8月 全国キャラバン開催【高松・北見】
- '09. 3月 2008年度表彰式・シンポジウム開催
（全国大賞：群馬県助産師会）

2009年度

2008年度 表彰式



（上）全国大賞の群馬県助産師会による「いのちの大切さを伝える」出前講座の様子
（左）2008年度表彰式の様子。写真は全国大賞の群馬県助産師会



2008年度 表彰式

2010年度

- '10. 10月 全国キャラバン開催【山形】
- 12月 全国キャラバン開催【大阪】
- '11. 2月 2010年度表彰式・シンポジウム開催
（全国大賞：オババト隊）



2010年度 有識者会議

2005年のフォーラム設立以来、継続してブレックファースト・ミーティング（有識者会議）を開催。毎回ゲストスピーカーを招き「日本人のこころのありよう」について討議



2010年度 表彰式

2011年度

- '11. 11月 全国キャラバン開催【熊本】
- 東日本大震災支援活動
（トヨタ財団との共同プロジェクト）
- 2011年度支援実施
- '12. 2月 2011年度表彰式・シンポジウム開催
（全国大賞：石樽の里コミュニティ）



2010年度 表彰式

（上）表彰式後の交流会では、前年度の受賞者も参加し、有識者や実践者の方々が和やかに交流を深める場となった
（左）全国大賞受賞のオババト隊をはじめ、全国からお集りいただいた2010年度受賞者の皆さん

2012年度

新有識者を迎え、さらなる討議を開始

- '12. 4月 東日本大震災支援活動
（トヨタ財団との共同プロジェクト）
- 2011年度報告会
- 7月 2012年度支援実施
- 11月 2012年度報告会
- 11月 全国キャラバン開催【石樽/三重】
- '13. 2月 2012年度表彰式開催
（全国大賞：東中ファミリーサポーターズ・東中地域活性隊）



2012年 全国キャラバン

全国キャラバン2012を三重県いなべ市立石樽小学校（前年度全国大賞受賞）で開催。写真は、生徒によるオープニングでの演奏風景



京都での第1回シンポジウムの様子を伝える記事

日本人が戦後の豊かさの中で「こころ」を見失いつつあるのではないか——という危機感を共有する各界の有識者が集い、未来を担う子どもたちの「こころを育む」とはどういうことかについて討議を展開した様子が掲載されました。



全国キャラバンやシンポジウムでの講演内容をまとめた『いま、こころを育むとは』を刊行
山折哲雄 著（小学館新書）



2012年 表彰式



(上) 2012年度表彰式より、全国大賞の東中ファミリーサポーターズ・東地域活性隊による実践事例発表
(左) 挨拶の言葉を述べる遠山理事長（現パナソニック教育財団 顧問）



2015年 特別シンポジウム

(上) 2015年5月、活動10年の節目として「次世代に伝えたい日本人のこころ」をテーマに特別シンポジウムを開催
(右) 特別シンポジウムで講演する山折座長



2016年 全国キャラバン

(上) 全国キャラバン2016では、八幡平中学校（前年度全国大賞受賞）の生徒が校内を八幡平に見立てたガイドを実践
(左) 「谷内先祓舞」を披露



2016年 全国キャラバン

挨拶を述べる小野理事長



2017年 全国キャラバン

全国キャラバン2017 in 口熊野かみとんだ（和歌山県）は、台風のため中止。現地関係者との活動報告・懇談会を実施



2017年 全国キャラバン

フォーラムの有識者による対談をまとめた書籍『次世代に伝えたい日本人のこころ』100冊を和歌山県教育委員会へ贈呈



2017年9月有識者対談の書籍刊行。パナソニック教育財団 ころを育む総合フォーラム編（PHP研究所）

2013年度

「有識者対談」WEB連載スタート
（東洋経済オンラインとの共同企画）
'13. 7月 東日本大震災支援活動
（トヨタ財団との共同プロジェクト）
2013年度支援実施
全国キャラバン開催
【近江八幡/滋賀】
12月 2013年度表彰式開催
（全国大賞：熊本市立出水南小学校）
'14. 2月 全国キャラバン開催
【伊丹/兵庫】



2013年 表彰式

2014年度

'14. 10月 全国キャラバン開催【熊本】
12月 2014年度表彰式開催
（全国大賞：仙台市立南吉成中学校）

南吉成中学校（前年度全国大賞受賞）にて全国キャラバン2015を開催。写真は地域住民を中学校へ誘導する地域避難訓練の様子



2013～14年 特別対談
（東洋経済オンラインとの共同企画）
山折座長と各界を代表する有識者が「日本人としての教養～次世代に継承したいこと」をテーマに語っていただきました。
※ホームページにてご覧いただけます。
http://www.kokoro-forum.jp/project_toyokeizai/

2015年度



2015年 全国キャラバン

全国少年警察ボランティア協会と共同イベントを開催



シンポジウムの内容が掲載された『少年研究叢書27』

2015年11月、公益社団法人 全国少年警察ボランティア協会主催の第22回少年問題シンポジウム「次代を担う少年の育成のために～進学・就労機会づくりによる積極的な立ち直り支援～」に協賛しました。関係者251人が出席し、貧困による少年育成への影響や非行からの立ち直りなどについて話し合われました。

2016年度

'16. 11月 全国キャラバン開催
【鹿角八幡平/秋田】
'17. 2月 2016年度表彰式開催
（全国大賞：和歌山県立熊野高等学校Kumanoサポーターズリーダー部）



2016年 表彰式

2016年度で9回目を迎えた表彰式では、応募された92団体から4件を表彰。写真は受賞者の皆さん



2016年 表彰式

子どもたちの作品や活動内容は、毎回、表彰式会場内にパネルなどで展示

2017年度

'17. 11月 全国キャラバン開催
【口熊野かみとんだ/和歌山】
'18. 2月 2017年度表彰式開催
（全国大賞：長野市立城東小学校）



2017年 表彰



2017年 表彰

小学生から高校生までが集まり、子ども主導のまちづくりを進める優秀賞受賞のやかげ小中高こども連合YK6G60



2017年 表彰

もうひとつの優秀賞受賞は、宇多津町社会福祉協議会のボランティア銀行。小・中・高生がボランティア活動で「ハート」という単位を貯め、まちをよくする財源として寄付している

これまでの全受賞者 2008年度～2009年度

※団体名称（法人格含む）は、受賞時の名称を掲載しています

各年度の受賞者についての詳しい活動内容は「こころを育む総合フォーラム」ホームページ内の「年度別受賞者の活動紹介」でご覧いただけます。 http://www.kokoro-forum.jp/project_kokoro/

2008年度受賞

団体

- 全国大賞**
社団法人 群馬県助産師会〈群馬県〉
 活動テーマ 助産師による「いのちの大切さを伝える」出前講座
- ブロック大賞・特別賞**
NPO法人 森と海の学校〈山口県〉
 活動テーマ 子ども自然体験キャンプ、ジュニア洋上スクールなどの事業による「親からの手紙」と「青少年指導者（高校生、大学生）の育成」
- ブロック大賞**
あじ島冒険楽校〈宮城県〉
 活動テーマ 『昔の子どもたち』から『未来の大人たち』へ『島の夏休み』を伝えたい
- ブロック大賞**
足立区立第十一中学校 開かれた学校づくり協議会〈東京都〉
 活動テーマ 花むすび「中学校を拠点とする“地域づくり”“学校づくり”“こどもほめ育て”の地域ぐるみの取り組み」
- ブロック大賞**
少年少女合唱団マーレ〈福井県〉
 活動テーマ 歌声体験交流活動
- ブロック大賞**
特定非営利活動法人 ふれあいネットひらかた〈大阪府〉
 活動テーマ 商店街の空き店舗を活用し、食育をテーマとした小学生の居場所づくり『キッズ・キッチン』
- ブロック大賞**
KSVN 嘉瀬小学校ボランティアネットワーク〈佐賀県〉
 活動テーマ どうようひろば
- 奨励賞**
くしろゴールデンシアターきらり座〈北海道〉
 活動テーマ キッズと高齢者のコラボ劇「おじいちゃんと話そうよ」
- 奨励賞**
埼玉県越谷市立大沢小学校〈埼玉県〉
 活動テーマ 自己をみつめ、よりよく生きようとする児童の育成
- 奨励賞**
特定非営利活動法人 リトミックGifu〈岐阜県〉
 活動テーマ 小学生の土曜日居場所づくり「表現のワークショップ&ミュージカル」
- 奨励賞**
財団法人 山本能楽会〈大阪府〉
 活動テーマ 「アートによるこどものための能案内」と「能と遊ぼう!」
- 奨励賞**
夢配達人プロジェクト神石高原町実行委員会〈広島県〉
 活動テーマ 神石高原町を舞台とした絵本が作りたい
- 奨励賞**
久米島ホタルの会〈沖縄県〉
 活動テーマ ホタル舞い飛ぶ久米島の島づくり

個人

- 個人賞**
金杉 朋子〈東京都〉
 活動テーマ アイデンティティ形成に向け、高校生が自己表現する倫理の授業実践～「かけがえなさを認め合う場」としてのクラスの可能性～
- 奨励賞**
向井 哲朗〈鳥取県〉
 活動テーマ 「泳げる中海を取り戻す」身近に出来る水質浄化活動を機軸に、リサイクルの実践、小さな環境活動を積み重ねる

団体

- 全国大賞**
山形県立置賜農業高等学校演劇部〈山形県〉
 活動テーマ 食育ミュージカルによる豊かなこころを育む活動
- ブロック大賞**
NPO法人 湘南DVサポートセンター〈神奈川県〉
 活動テーマ いじめ防止プログラム「スクール・バディ」活動
- ブロック大賞**
NPO法人 福寿草の郷〈石川県〉
 活動テーマ おたがいを知ろう…自然体験を通したふれあい交流
- ブロック大賞**
大阪府立豊中支援学校D.D.D.クラブ（ドラム、大好き、大集合）〈大阪府〉
 活動テーマ 歌って、踊って、ドラムでハッピー！
- ブロック大賞**
城北公民館〈島根県〉
 活動テーマ じゃがいも大作戦
- ブロック大賞**
児童劇団つばさ〈福岡県〉
 活動テーマ 平和・環境・社会問題をテーマとする地域活動とミュージカルの公演
- 奨励賞**
ハート&アート空間“BE I”（ビーアイ）〈宮城県〉
 活動テーマ 目指せ！心キンクマン！！心を育む継続的ワークショップ
- 奨励賞**
社団法人 ガールスカウト日本連盟〈東京都〉
 活動テーマ ピースバックプロジェクト
- 奨励賞**
一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会（エコツツェリア協会）〈東京都〉
 活動テーマ エコキッズ探検隊2009
- 奨励賞**
はなまる地域探検隊〈長野県〉
 活動テーマ どの子も育つ「頭で学ぶ・体で学ぶ・ここで学ぶ」
- 奨励賞**
伊勢市立五十鈴中学校〈三重県〉
 活動テーマ サステナブル社会の実現をめざすためのシチズンシップや行動力を養うための学習
- 奨励賞**
備前プレーパークの会〈岡山県〉
 活動テーマ 自然環境を最大限に生かした冒険遊び場づくりへの挑戦～人と人とがつながり育ち合う 森の冒険ひみつ基地～
- 奨励賞**
食から環境を考える未来の会〈福岡県〉
 活動テーマ 子どもといっしょにエコプロジェクト（ごきげんごはんを作ろう）

個人

- 個人賞**
松浦 明博〈東京都〉
 活動テーマ 夜間定時制高校での「奉仕」の授業実践
- 奨励賞**
富樫 俊江〈東京都〉
 活動テーマ 「歌と遊びの会」による文化の伝承活動
- 奨励賞**
佐藤 重一郎〈京都府〉
 活動テーマ 自分史を語り日本人の心の遺産を伝える活動

これまでの全受賞者 2010年度～2011年度

※団体名称（法人格含む）は、受賞時の名称を掲載しています

2010年度受賞

団体	全国大賞	特定非営利活動法人 オバパト隊〈熊本県〉 活動テーマ オバパト隊（オバタリアンパトロール） ～守るつもりが守られて～
	ブロック大賞	酒田市立飛鳥中学校〈山形県〉 活動テーマ 地域の特産物を生かした“飛鳥ブランド商品”の開発と販売学習～地域商工会とのコラボレーションを通して～
	ブロック大賞	鴻巣市立鴻巣南小学校〈埼玉県〉 活動テーマ 「豊かな心を育む」特色ある教育活動の実践 ～学校・家庭・地域とのたしかな結びつきを通して～
	ブロック大賞	特定非営利活動法人 ポレポレ〈静岡県〉 活動テーマ 地域のみんなでにこにこ子育て子育て
	ブロック大賞	播磨マリンクルー〈兵庫県〉 活動テーマ 播磨マリンクルー出前授業及び底引き網漁体験学習
	ブロック大賞	特定非営利活動法人 おかやま犯罪被害者サポート・ファミリーズ〈岡山県〉 活動テーマ 命の授業プロジェクト～犯罪被害者遺族による心と命の教育活動
	奨励賞	社団法人 札幌青年会議所〈北海道〉 活動テーマ 近所に泊まろう！地域ホームステイ「子どもたちにたくましく豊かな心を！」～地域と共に築こう。明るい豊かな札幌の創造！～
	奨励賞	りぶりんとネットワーク〈東京都〉 活動テーマ シニア読み聞かせボランティア「りぶりんとネットワーク」
	奨励賞	台東区立黒門小学校 育ての会〈東京都〉 活動テーマ 地域を愛し、地域に根ざした「東京さんざ黒門連」の活動
	奨励賞	任意団体病院プロジェクト ALIVE〈神奈川県〉 活動テーマ ALIVE MUSIC&COMMUNICATION PROJECT
個人	奨励賞	特定非営利活動法人 おはなしキャラバン “つばさ”〈大阪府〉 活動テーマ 人形劇のキャラバン講演
	奨励賞	佐賀市立北川副公民館運営協議会〈佐賀県〉 活動テーマ 子どもへのまなざし運動推進事業
	個人賞	小林 秀子〈埼玉県〉 活動テーマ 絵本の編んでるシアター館
	奨励賞	村田 トオル〈兵庫県〉 活動テーマ 地域の公園を活かした外遊びサークル「元気っずクラブ」の活動

受賞者の近況

2010年度 全国大賞受賞 オバパト隊

子どもの安全見守りを続けて14年、その後 平成23年 花と香りのふれ合い公園作りで環境大臣表彰受賞、平成25年「いじめ撲滅キャンペーン」等で文部科学大臣表彰受賞、平成28年 熊本大地震で小、中学校共避難所となり休校となった学校で命を守る活動、「食は命です」と児童の精神的ケア、食中毒予防食や災害時持ち出し非常食及び被災地の特産品を使用した復興長寿食の開発に加え、独居老人の孤独死防止対策として食の無料配布により、熊本県より「ふるさと食の名人」の認定を受ける。幸、蒲島熊本県知事の不眠不休の発想と素早い行動に守られ、笑顔を取り戻した県民を代表してその恩に報いる為、オバパトはパトパトになっても頑張ります。



災害見舞金を募集し、くまもんに託して県へ寄付

各年度の受賞者についての詳しい活動内容は「ココロを育む総合フォーラム」ホームページ内の「年度別受賞者の活動紹介」でご覧いただけます。

http://www.kokoro-forum.jp/project_kokoro/

2011年度受賞

団体	全国大賞	石榑の里コミュニティ〈三重県〉 活動テーマ 子どもは地域の宝 地域全体で子どもを守り育てる～交流・協働・共育の学校づくり、人づくり、里づくり～
	ブロック大賞	福島県田村郡三春町立沢石中学校〈福島県〉【閉校】 活動テーマ 絆プロジェクト
	ブロック大賞	特定非営利活動法人 NPOカタリバ〈東京都〉 活動テーマ 対話型ワークショップ「カタリ場」
	ブロック大賞	特定非営利活動法人 阿羅漢〈石川県〉 活動テーマ 山代ファミリーサポートセンター施設事業 ～チャレンジ活動とたそがれハウス事業～
	ブロック大賞	特定非営利活動法人 高知こどもの図書館〈高知県〉 活動テーマ 本と地域が支える子どもの文化～民間の図書館発、子どもの未来行き～
	ブロック大賞	しんぐう・こが・ふくつ・むなかたアンビネット協議会〈福岡県〉 活動テーマ 子どものまるごと体験フェスティバル ～地域通貨を使って仕事体験～
	奨励賞	ぱん・ぱん・ぱんぶきん〈北海道〉 活動テーマ こどもと大人がつくる日本一小さな遊～遊～村・村づくり事業
	奨励賞	KOPA (Kids, Outdoor, Play Activity)〈東京都〉 活動テーマ 公園巡回型乳幼児期のたまり場づくり
	奨励賞	キャラバン隊「空」〈千葉県〉 活動テーマ キャラバン隊「空」公演
	奨励賞	特定非営利活動法人 全国不登校新聞社〈東京都〉 活動テーマ 子ども若者編集部
個人	奨励賞	特定非営利活動法人 野外教育学修センター 魚沼伝習館〈新潟県〉 活動テーマ 地域の素晴らしさをもっと知ってもらうために ～人・自然・なかまと育むゆたかな心～
	奨励賞	「商店街の寺子屋」運営委員会〈兵庫県〉 活動テーマ 商店街の寺子屋 ～子どもが心豊かで健やかに育つ環境づくり～
	奨励賞	特定非営利活動法人 日本クリニクラウン協会〈大阪府〉 活動テーマ 入院中の子どもたちに「こども時間」を届けるクリニクラウン（臨床道化師）

受賞者の近況

2011年度 全国大賞受賞 石榑の里コミュニティ

10年に渡る活動表彰に心より敬意を表します。受賞後、様々な理由で家庭学習が困難な子どもを対象に、放課後、地域の方が先生となり学習支援を行う「学習広場」を始めました。また、地域の方にもっと学校へ来てもらおうと学校のキッチンカウンターでコーヒーを振舞う「石榑モーニング」を開始しました。このように、子どもに寄り添い、守り育てる活動が更に広がっています。

全国キャラバンで頂戴した「地域が一体となり取組めばこんな素晴らしいことが出来る。日本一の地域と学校だ」の言葉を励みに、あせらず“ぼちぼち”活動していきます。



学習広場で宿題をする子どもたちとこれを見守る地域ボランティア

2011年度受賞	団体	奨励賞	都会と田舎を結ぶ食育ネット〈愛媛県〉 活動テーマ 山里海の四季、生活・産業を体験しよう
		奨励賞	一般社団法人 日本バースセンター協会 九州バースセンター 姥が懐〈福岡県〉 活動テーマ 地域のお産は地域が守る！地域のボランティアが活躍するお産施設
	個人	個人賞	矢野 未友木&百花〈兵庫県〉 活動テーマ 世界に一つだけのバリアフリーな工作キットで子どもたちのこころを育てる活動 ～幼児期から楽しく学べるユニバーサル教材の開発とワークショップ開催～
2012年度受賞	団体	奨励賞	中嶋 真理〈岩手県〉 活動テーマ 絵本で拓く道徳授業 ～映像資料を用いて、学年道徳～
		全国大賞	東中ファミリーサポーターズ・東中地域活性隊〈兵庫県〉 活動テーマ 地域と生徒との「共育・協育・今日行く」双方向の活動
		ブロック大賞	酒田市立第三中学校〈山形県〉 活動テーマ 「三中コミュニティー」活動
		ブロック大賞	特定非営利活動法人 まえはら子育てネットワーク「豆の木」〈千葉県〉 活動テーマ 小学生あつまれ！～「知っている」を「やったことがある」に～
		ブロック大賞	特定非営利活動法人 いのちをバトンタッチする会〈愛知県〉 活動テーマ いのちの授業 ～いのちを大切に作る家庭、地域、社会を築く～
		ブロック大賞	古江地区地域安全推進委員会〈島根県〉 活動テーマ トンネル壁画制作が結んだ中学生と地域の輪
		ブロック大賞	次世代のためにがんばろ会〈熊本県〉 活動テーマ 青少年育成「机上論ではなく、行動力」「人の意識改革・人づくり」

2012年度受賞	団体	奨励賞	まつお文庫〈宮城県〉 活動テーマ まつお文庫
		奨励賞	一般社団法人 みんなのとしょかん〈栃木県〉 活動テーマ 「みんなのとしょかん」プロジェクト
		奨励賞	特定非営利活動法人 子ども広場あそべこどもたち〈東京都〉 活動テーマ 三ツ又冒険遊び場たぬき山
2013年度受賞	団体	奨励賞	みやこだ自然学校の会 活動テーマ みやこだ自然学校
		奨励賞	公益財団法人 とよなか国際交流協会〈大阪府〉 活動テーマ こどもがつくるこどものまち「たぶんかミニとよなか」
		奨励賞	任意団体 NPOえひめ心のつばさ〈愛媛県〉 活動テーマ 親と子の心のSOSを受けとめて ～長期欠席・いじめ・ひきこもりで苦しむ子どもと親達の心を救い、学校・社会復帰へと導く～
		奨励賞	小船越町通学合宿実行委員会〈長崎県〉 活動テーマ 地域で取組む長期通学合宿
	個人	個人賞	高村 豊〈愛知県〉 活動テーマ 障がい児のための「おもちゃ図書館」活動
		ブロック大賞	近江 敦子〈北海道〉 活動テーマ 小児病棟での絵本読み聞かせ
2013年度受賞	団体	全国大賞	熊本市立出水南小学校〈熊本県〉 活動テーマ 1000回の交流で育み続けるノーマライゼーションのこころ ～隣接する学校のメリットを生かした34年間の積み重ね～
		優秀賞	Wonder Art Production〈東京都〉 活動テーマ Happy Doll Project
		優秀賞	みんなでつくる学校 とれぶりんか〈大阪府〉 活動テーマ 中学生と卒業生をつなぎ地域を変える子ども・若者の居場所づくり
		奨励賞	福島ひまわり里親プロジェクト〈福島県〉 活動テーマ 福島ひまわり里親プロジェクト



2011年度 受賞者のみなさん



2012年度 表彰式



2011年度 表彰式



2012年度全国大賞
東中ファミリーサポーターズ・東中地域活性
隊による発表

受賞者の
近況

2012年度 全国大賞受賞 東中ファミリーサポーターズ・東中地域活性隊

「こころを育む活動」表彰式の記念すべき10回目の開催、誠におめでとうございます。全国大賞を受賞した全ての団体は、「より良い社会を創りたい」という共通の志をもった「仲間」だと、私たちは考えます。目まぐるしく変化する現代社会の中で、希薄になりがちな「人と人との繋がり」が「こころを育む」上でいかに重要であるか―皆様はきっと心の底から痛感されていることでしょう。大賞の受賞や組織の安定はゴールではありません。この素晴らしい「仲間」たちとの繋がりを胸に、それぞれの場所で共に未来を切り拓き続けたいと思います。



サタスタ終了後も熱心に学習する生徒とスタッフ

これまでの全受賞者 2014年度～2017年度

※団体名称（法人格含む）は、受賞時の名称を掲載しています

各年度の受賞者についての詳しい活動内容は「こころを育む総合フォーラム」ホームページ内の「年度別受賞者の活動紹介」でご覧いただけます。
http://www.kokoro-forum.jp/project_kokoro/

2014年度受賞	団体	全国大賞	仙台市立南吉成中学校〈宮城県〉 活動テーマ 多様な体験的活動を取り入れた持続発展教育～大震災の復興支援活動と防災教育を通じて、“支えられる人”から“支える人、支え合う人”へ、心と姿勢の変容を目指す教育実践活動～
		優秀賞	北海道中標津農業高等学校〈北海道〉 活動テーマ 計根別食育学校 ～幼小中高連携・食と農の一貫教育を目指して～
		優秀賞	精華町立東光小学校〈京都府〉 活動テーマ やさしい町づくり・やさしい人づくり
		奨励賞	特定非営利活動法人 奄美青少年支援センター「ゆずり葉の郷」〈鹿児島県〉 活動テーマ 子ども及び保護者、障がい者に対する相談支援活動
2015年度受賞	団体	全国大賞	鹿角市立八幡平中学校〈秋田県〉 活動テーマ 八幡平ボランティアガイド
		優秀賞	一般社団法人 キッズ・メディア・ステーション〈宮城県〉 活動テーマ 石巻日日こども新聞
		優秀賞	とどろみの森学園 箕面市立止々呂美小・中学校〈大阪府〉 活動テーマ とどろみに生きる
		奨励賞	特定非営利活動法人 湘南市民メディアネットワーク〈神奈川県〉 活動テーマ 映像制作授業・ワークショップによる青少年育成・自立支援・社会参加事業

2016年度受賞	団体	全国大賞	和歌山県立熊野高等学校 Kumanoサポーターズリーダー部〈和歌山県〉 活動テーマ 地域に根ざし、地域に貢献する高校生リーダーを目指して ～5つの絆作りボランティア～
		優秀賞	新潟県糸魚川市立能生小学校〈新潟県〉 活動テーマ フウセンカズラ高齢者見守り隊
		優秀賞	福井市至民中学校〈福井県〉 活動テーマ シン（進・深・信・新）化 チーム「至民」
		奨励賞	非営利任意団体 KAKECOMI〈福島県〉 活動テーマ まかないこども食堂「たべまな」でのピアサポート学習支援事業
2017年度受賞	団体	全国大賞	長野市立城東小学校〈長野県〉 活動テーマ 共に学ぶ長野ろう学校との41年目の交流活動 ～共生社会の形成に向けて6年間の継続交流～
		優秀賞	やかげ小中高こども連合YKG60〈岡山県〉 活動テーマ こどもが主役のまちづくり
		優秀賞	社会福祉法人 宇多津町社会福祉協議会〈香川県〉 活動テーマ 「ボランティア銀行」事業
		奨励賞	特定非営利活動法人 あおもり若者プロジェクト クリエイト〈青森県〉 活動テーマ クリエイトまち塾 ～まちでの挑戦を通じて故郷を知る、未来を拓く～
		奨励賞	恵那市立串原小学校・中学校〈岐阜県〉 活動テーマ 小さな学校 大きな教育 ～ふるさとコミュニティによる小中一貫ふるさと教育～
		奨励賞	一般社団法人 四日市大学エネルギー環境教育研究会〈三重県〉 活動テーマ ESDアクティブ・ラーニングによる出前授業 ～学校教育、社会教育で、持続可能な社会のための“人づくり”～
		奨励賞	登美ヶ丘北中学校区地域教育協議会〈奈良県〉 活動テーマ とみきたスクール
		奨励賞	志免町立志免南小学校〈福岡県〉 活動テーマ 共に生きる ～心のバリアフリー～



2014年度 表彰式



2014年度 表彰式後の交流会



2014年度優秀賞 北海道中標津農業高校生徒による発表



2015年度 受賞者のみなさん



2015年度 表彰式

受賞者の近況

2015年度 全国大賞受賞 鹿角市立八幡平中学校

「八幡平ボランティアガイド」は今年で6年目を迎えました。今年は10月7日、8日に行われ、過去最多の214組、544名の観光客の皆様をガイドしました。近年海外からの観光客が増えていることからマレーシア出身の講師をお招きして、華語によるあいさつなどもガイドに取り入れました。年々、移動中のフリートークも充実し、ガイドした方々との交流も深まっています。今年もたくさんのお礼の手紙や写真が届きました。これを励みに、この後は英語のガイドマニュアルづくり等さらに活動を広げていく予定です。



後生掛班全員の集合写真です。最高の天気と紅葉に恵まれ、張り切ってガイドに取り組むことができ、お土産のお米もすべてなくなるなど大盛況でした



2016年度 表彰式後の交流会

2016年度 表彰式